

予算特別委員会

A委員(自民) 常磐線やTXが都心と直結することは、県全体の地域振興・発展にも大きく寄与すると考える。常磐線の東京駅乗り入れ及びTX東京延伸の現状と今後の見通しを伺う。

知事 常磐線の延伸については、平成二十五年度の開業に向け工事が順調に進んでいる。TXについては、収支の見直しなど解決しなければならぬ課題があるが、東京延伸に向け、引き続き関係者との協議を進めていく。(ほかに、つくばの特色を活かしたTX沿線のまちづくりなども質問)

B委員(公明) 子宮頸がん、乳がん無料検診クーポンを有効活用し受診率50%へ全国一番乗りを目指したい。①県指定病院で誰もが受診できる体制づくり、②クーポン受診率の県目標設定、③各市町村の緊急雇用基金を利用した受診勧奨を提案する。

保健福祉部長 ①子宮がんは県内どこでも受診できる体制だが、乳がんも同様に見えるよう市町村、医師会と急ぎ調整したい。②国が見込んだ50%を目指す。③葉書や電話による積極的な個別勧奨を市町村に働きかけたい。(ほかに、雇用対策なども質問)

C委員(自民) 若い人たちの雇用対策をどう考えているのか。**知事** 高校卒業者の半数近く、大学卒業者の約36%が三年後に離職しており、技能の継承などにも大きな問題が出てくる。若者の職業観や人生観などを教育の中で培っていかねばならない。安定した職場確保のため企業誘致促進や足腰の強い中小企業の育成、安定した生活のために結婚や貸金対策も必要であり、今後も努力していく。(ほかに、後継者の確保につながる所得目標が設定できる農業の確立なども質問)

D委員(共産) 年間約五百万トンのCO2を排出する東京電力の常陸那珂石炭火力発電所二号機が運転開始すれば、本県のCO2排出量は全国三位となり、温暖化対策に逆行する。二号機建設中止を強く求めるが所見は。**知事** 東京電力では、最高技術水準でCO2の排出を抑制するとしており、また、石炭火力発電としては、世界最高水準の熱効率のものでもある。このような点から、建設にストップをかける状況にはないと考えている。(ほかに、特別支援学校整備計画、介護保険の改善なども質問)

E委員(民主) 住宅供給公社、土地開発公社及び開発公社への県の支援額は七八五億円に及ぶ。県出資団体には、まだ隠れている債務や、新たに支援が必要ないか。**知事** 各公社とも、需要の低迷により土地処分が進捗しない場合などに追加支援が見込まれる。土地開発公社は、今後、低価格の適用を行うとともに、必要な支援を検討する。他の団体は、大きな支援を必要とする経営上の課題は現在のところ見あたらない。(ほかに、経済・雇用対策も質問)

F委員(自民) 桜川市と石岡市を結ぶ上曾トンネルの整備事業の現状と着工見通しについて伺う。**知事** 桜川市側の用地買収は完了したが、石岡市側が未了のため引き続き交渉していく。本体内着工は、トンネル本体部分の延長短縮や断面変更などにより、二割の事業費圧縮を図ったが、朝日トンネル事業のように合併特例債を活用できないため、平成二十年代半ばの見込みである。(ほかに、農業高校の地域連携や実習助手の確保なども質問)

食の安全・安心推進条例案を審査し、最終調査結果を報告

安心できる食の確保や提供等に関する調査特別委員会
食の安全・安心推進条例案を審査し、最終調査結果を報告

本委員会(田山東湖委員長)は、県民の食の安全・安心の確保や提供等を調査するため、昨年三月の設置以来十三回の委員会を開催し、最終回となった今定例会中の委員会では、これまでの審議内容が反映された「茨城県食の安全・安心推進条例案」を全会一致で可決しました。定例会最終日に行った調査結果報告における主な提言内容をお知らせします。

- ◆安心できる食の確保
 - 安全・安心な食の確保と生産・供給に寄与する条例の制定
 - 食品表示に関する監視指導業務の一元化や輸入食品の検査体制の充実・強化
- ◆安心できる食の提供
 - 農薬・肥料等の適正管理の推進
 - GAP(適正農業規範)手法やハサップ(危害分析重要管理点)手法の普及促進
- ◆安心できる食の未来へ
 - 学校給食や農産物直売所を活用した地産地消の推進と食育の推進
 - エコ農業茨城の推進
 - 本県農林水産物のイメージアップにつながる農林水産物フェアの開催

県出資団体等調査特別委員会

県出資団体等調査特別委員会

出資団体や特別会計・企業会計の経営健全化の今後のあり方について調査するため、第一回定例会で設置された「県出資団体等調査特別委員会」(西條昌良委員長)は、これまで二回開催しました。

第一回委員会では、委員会の調査方針や活動計画などを決定し、団体・会計の全体概要について説明を聴取しました。また、第二回の委員会で各出資団体の現状・課題について説明を聴取し、精査すべき七団体、三会計を選定しました。今後さらに詳しい調査検討を進める予定です。

- 精査団体**
- 開発公社、鹿島都市開発、土地開発公社、住宅供給公社、社会福祉事業団、教育財団、グリーンふるさと振興機構
- 精査会計**
- 鹿島臨海工業地帯造成事業、都市計画事業、土地区画整理事業、病院事業



お知らせ

今回の、平成21年第3回定例会は、10月5日から26日までの22日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜日	議事	予定
10.5	月	議会運営委員会	本会議(開会、知事提出議案説明)
6	火	議案調査	
7	水	議案調査	
8	木	議会運営委員会	本会議(代表質問・質疑)
9	金	議会運営委員会	本会議(代表質問・質疑)
10	土		
11	日		
12	月	(体育の日)	
13	火	議会運営委員会	本会議(一般質問・質疑)
14	水	議会運営委員会	本会議(一般質問・質疑)
15	木	議会運営委員会	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
16	金	常任委員会	
17	土		
18	日		
19	月	常任委員会	
20	火	議会運営委員会	本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
21	水	決算特別委員会	
22	木	予算特別委員会	
23	金	県出資団体等調査特別委員会	
24	土		
25	日		
26	月	議会運営委員会	本会議(委員長報告、採決、閉会)

質問者

- 飯岡 英之 (自由民主党)
- 田村けい子 (自由民主党)
- 高橋 靖 (自由民主党)
- 大内久美子 (日本共産党)
- 青山 大人 (民主党)
- 白田 信夫 (自由民主党)